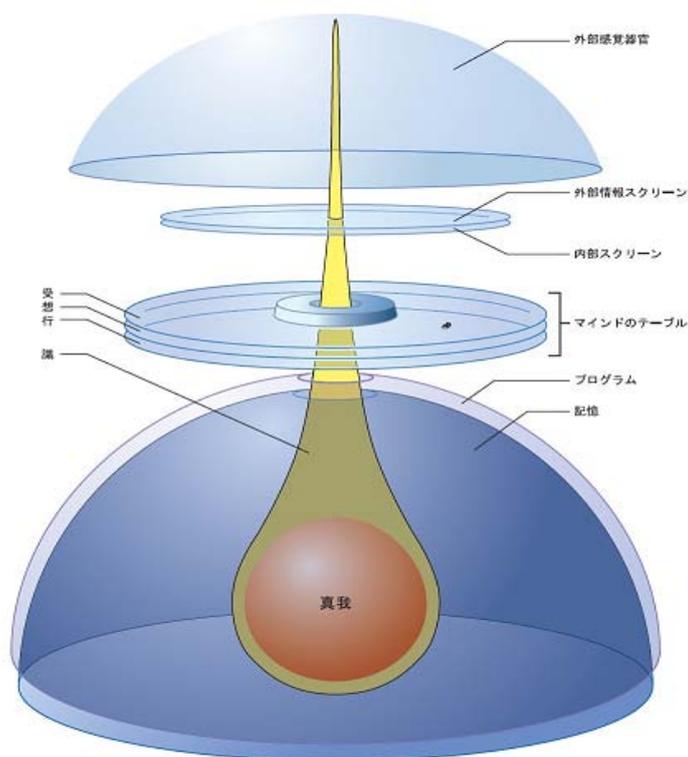


$$S + max - my < 0$$

S= もともとあるストックの思考の種
 m= 瞑想し始めてからの経過時間 (minutes)
 a= 増殖係数
 x= 単位時間に増える思考の種
 y= 単位時間に減少する思考の種



$a = (\text{欲の強さ}) \times (\text{記憶力の良さ}) \times (\text{自己認識の低さ}) \times (\text{関連するプログラムの数})$

$a = f(g) \times f(h) \times f(c) \times f(m)$

参考

get, hold, compare, more

上記は、第一段階でも、第二段階でも言える。

X は、
外部情報

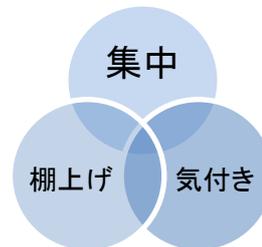
五感情報
刺激情報
物理刺激
化学刺激
濃度情報
酸素
血糖値
乳酸値

内部情報

ログ情報
履歴情報 画像情報 イベント情報
タスク情報 (ログとは別のもの)
懸案 (未来)
心配 (過去)
欲がらみ (get, hold, compare, more)
システムメンテナンス情報 データ移行、移設
悲しみ
驚き
不整合のもの

深部情報

過去の未解決のもの
封印もの
(学習済みのもの)
(=プログラム化されたもの)



Yは、
「集中」「気付き」「棚上げ」の回転の速さ。

どれも短いのが良い。

「集中」が強すぎると、「気付き」に行けない。軽い「集中」が良い。

「気付き」は、待ち構えているくらいの素早さが良い。

「棚上げ」は、後ろを振り向かない。棚上げの上手い下手を気にしない。